

大原法律公務員専門学校横浜校で防衛講話



かなっくホールでの講話風景

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林 1 陸尉）は11月10日（火）、大原法律公務員専門学校横浜校（以下大原横浜校）が、かなっくホール（神奈川県）において実施した、神奈川県地方協力本部募集課広報班長の菜原3陸佐を講師に迎えた防衛講話を支援した。

本企画は、昨年度から文部科学省が大原横浜校に指示している「公務員実務実践プログラム」により、同校から依頼を受け実施したもので170名が参加した。

講話の内容は、菜原3陸佐が第31普通科連隊において勤務していた際の東日本大震災での体験談を中心に、自衛隊が災害派遣に派遣されるまでの流れや仕組みの説明、また災害派遣ばかりが取り沙汰されているが、国防が自衛隊の大きな任務であることを説明した。

同校の教員から「災害派遣中に注意していたことは？」との質問が出た際には「長期に渡り派遣されている隊員の健康管理などに注意を払っていた」と語った。

横浜出張所は「今後も大原横浜校との関係を密にして、公務員実務実践プログラム等の機会を通じて自衛隊の魅力伝え、募集成果につなげていきたい」としている。

東京IT会計法律専門学校横浜校で防衛講話



東京IT横浜校での講話風景

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林 1 陸尉）は11月10日（火）、東京IT会計法律専門学校横浜校（以下東京IT横浜校）において、神奈川県地方協力本部長を講師に迎えた防衛講話を実施した。

本企画は、東京IT横浜校より「自衛隊の『国を守る』という崇高な使命をもち、不断の弛まぬ努力によって平和が維持されている現状及び、災害派遣活動では『最後の砦』として活躍している状況について理解を深めさせたい」との依頼を受け、生徒64名に対して「自衛隊の役割と活躍」と題し、スライドを交えながら海上自衛隊の概要、給与体系、各種施策に加え、災害派遣やインド国防大学等の体験談を講話した。

生徒の中には、進路を自衛官と他の公務員や一般企業と迷っている者もあり、真剣に話を聞く姿が見られた。また、同校の教員からは「難しい防衛問題を分かりやすく説明してくれた」「進路を決めかねている生徒たちにとって、より強い動機付けになった」との声が聞かれた。

横浜出張所は「今後も東京IT横浜校との関係を密にして、自衛隊の魅力伝え、募集成果につなげていきたい」としている。

武相高等学校進路説明会で自衛隊をPR



武相高校での説明会風景

自衛隊神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 林 1 陸尉）は11月11日（水）、横浜市に所在する私立武相高等学校（以下武相高校）において、進路説明会を実施した。

本企画は、武相高校が1年生を対象にどこでどのように働きたいのかというイメージを描き、様々な仕事・職業を知ることが目的としたガイダンスとして企画されたものであり、同校から多くの卒業生が自衛隊に入隊していることもあり、自衛隊に興味をもつ生徒42名が参加した。

自衛隊の任務、陸海空自衛隊の職種や仕事内容、自衛官等採用制度について説明し、生徒からは「漠然と進路は決めていたが、自衛隊も選択肢の一つになった」「自衛隊には幅広い仕事があり、自分もついていた自衛隊のイメージが変わった」との声が聞かれた。

横浜出張所は「今後も管轄内の学校との良好な関係を継続し、募集環境の醸成に努めていきたい」としている。